

以上地域づくりに生かせるものと考え、いくつか選んで簡単に紹介した。

豊かな文化遺産に包まれた郷土である事が確認できる。

それぞれ関係機関は整備・保存、そして後世に伝えようと努めている。

おんこちしん
「温故知新」・古

きをたずねて新しきを知る、の観点から息を吹き込み、活用しつつ新しいものを創造してほしいと願うものである。



皆さんの賛同を期待したい。

2014年8月・改定

文化遺産・宝を生かした地域づくりを！

文化遺産といわれる貴重な宝は数多く存在する。主なものを紹介してみたい。



大野文化財保護研究会
(ぶんぽけん)

文月のいなり稲荷神社 俳句額

1800年代、松前藩が崇敬した文月の稲荷神社。掲げられた「俳句額」は、数々の句から当時の道南の生活、文化の一端が伺える。ほかの二つの額を含め市指定文化財である。



大野のつづ綴り方かた

大野小学校では1920年代(大正から昭和初期)、雑誌『赤い鳥』に綴り方を投稿し断トツ入選させた。

大野の子供達の綴り方(作文)は全国に発信されたのである。

方言を交え素直に書かれ、文集『村の子供』にまとめられた。

その指導者・きむらぶんすけ木村文助により、日本の教育に少なからぬ影響を与えた。関係資料が市郷土資料館に収められている。学者間でも研究が盛んである。

